

卯月(April)の校長 令和3年度スタートの始業式 (R3.4.8)

令和3年度がスタートしました。始業式では、大きく2つの事をお願いしました。

1つ目は、今年度の益田高校の新しい合い言葉を、これまでの『自立への道程(みち)』の自立した人間を目指す精神は継続しつつ、新たに『**伸びる 伸ばす**』としたことです。

人にはそれぞれ得手不得手、好き嫌いがあり、個々の能力にも差があります。また、努力の結果がすぐに表れる時があれば、ずっと頑張っているのになかなか結果の出ない時だってあります。人はそれぞれ違い、成果の表れ方も違って当たり前です。

『**伸びる 伸ばす**』は、我々教職員はもちろんのこと、生徒自身も常に意識してもらいたい言葉であり、学業に関することだけではありません。部活動、探求活動などあらゆる面において、自分の可能性にすぐに線を引くのではなく、目標を見定めてチャレンジしてもらいたいということです。

誰しも楽はしたいし、苦しいことはいやなものですが、自分を高めていくためには、敢えて苦手なことや苦しいことにも継続して取り組むことが必要です。

『いわみの4月号』に競泳の池江璃花子選手のことについても述べましたが、『**伸びる 伸ばす**』の信念のもと、今、この時、この瞬間を過ごしてください。

2つ目は、常に『**凡事徹底**』を心掛けてほしいということです。

コロナ禍で、ずいぶん当たり前のことが当たり前でなくなったことも多いですが、『**凡事徹底**』とは「当たり前の事を当たり前に行う。いやそれだけでなく、その当たり前の事を人が真似できないぐらい徹底して行う」ことです。

徹底してもらいたい当たり前は数多くありますが、まずは『**時を守り、場を清め、礼を正す**』ことから心掛けてもらいたい。基本的生活習慣の確立に努め、周囲から『信用』『信頼』される『人間力』を磨き、心の偏差値を高めてもらいたいのです。

『**時を守り**』とは、決められた時間をきちんと守り、他人の時間を奪わないことです。人それぞれ等しく平等に与えられた時間を、他人のためだけでなく、自分のためにも大切にすることです。

『**場を清め**』とは、自分だけでなく皆が利用する環境を整理整頓し、お互いが気持ちよく使えるようにしてください。まずは、「10分間の清掃」を時間いっぱい本気でできる人になってほしいと思います。

『**礼を正す**』とは、相手が気持ちよくなるような「挨拶」「言葉遣い」「服装」を行うことです。形だけ取り繕うのではなく、気持ちのこもった挨拶、敬語・丁寧語を意識した言葉遣い、折り目正しい服装などの礼儀を重んじてください。

この『**凡事徹底**』は簡単そうに思えますが、継続することはかなり大変です。ぜひ、周囲から『信用』『信頼』される『人間力』を磨いてもらいたいのです。

以上、1つ目、合い言葉は『**伸びる 伸ばす**』、2つ目、『**時を守り、場を清め、礼を正す**』から始める『**凡事徹底**』をお願いしました。それでは、令和3年度の大きな節目に際して、この一年が充実したものとなることを期待しています。ともに頑張りましょう！！